

病院の概要

開設者：理事長 平子 健
 病院長：佐藤勝彦
 所在地：福島市大町6番11号

- 医師数：常勤…51名、非常勤…8名、指導医数…33名
- 診療科名：内科、胃腸科、小児科、外科、形成外科、整形外科、リハビリ、耳鼻科、頭頸部・顔面外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、神経内科、精神科、口腔外科・歯科、放射線科、麻酔科、病理診断科
- 病床数：一般…429床
- 年間入院患者実数：7,214名
- 年間新外来患者数：24,734名
- 1日平均外来患者数：569.9名
- 年間救急車搬入患者数：2,282名
- 平均在院日数：12.1日



アクセス



臨床研修病院の理念

すべての患者さんご家族のために、常に一歩先に行く医療を探求し、優しさを持って最善の医療を実践する研修医の育成を目指す。

病院長メッセージ



当院の臨床教育理念は、30年後の福島の医療を担う医師を育成することです。今、日本は超高齢社会となって地域包括ケアシステムの構築に向けて医療と介護を総合的に確保しなければなりません。それを担える医師が求められています。専門医療のみならず、救急医療やプライマリケアといった総合診療の充実が急務です。総合診療は初期研修医にとっては重要な修練の場です。初期研修に最適な病院は、指導医が臨床教育に熱心であり、救急診療や総合診療が充実している病院です。研修医が笑顔で生き生きと働いていることが、研修病院を選ぶポイントでしょう。

当院は、東日本大震災と原発事故で激減した研修医を取り戻すために、福島であっても他の臨床教育先進病院と同等以上の臨床研修ができるように取り組んできました。全国に視野を広げ、院外の超一流の指導医の教育を受ける機会を設け、質の高い臨床教育の提供を実現しました。また、当院では研修医をサポートするために専任の事務職員を配置してお世話を体制も整っています。福島は創世復興の時、私たちの病院で実力をつけて地域医療に貢献できる医師を目指して下さい。こんな時だからこそ若い力で医療の面から福島の復興に貢献しよう。

研修医コメント



こんにちは。大原総合病院初期研修医の川前恵史です。研修をスタートして一年が経ち少しずつできることが増え、楽しく元気に毎日研修をしています。

いろいろな病院を見学して僕が大原病院を選んだ決め手としては、①指導医の先生と研修医の距離の近さ、②医療スタッフとも交流あり、病院全体の雰囲気の良い点、③先輩研修医が主体的にいきいきと研修をしていた点です。

大原総合病院は勉強会や挿管などの手技も多い点特徴で研修医に必要なスキルも上級医のもっとしっかり学べます。また、病院全体が研修医に協力的で、「大原の研修は研修医がつくる」というスローガンのもと、研修医を主体とした研修を積極的に行うことができます。何よりも研修医同士の仲が良く、困った時は助け合い、知識や技術を共有することができ、医を学ぶ環境が整っています。

ぜひ一緒に大原総合病院で研修をして、切磋琢磨しながら医師としてのスキルを高めていきましょう。

研修プログラムの特徴

☆研修医主体の研修

当院では、「of the resident, by the resident, for the resident (研修医の研修医による研修医のための研修)」をモットーに、研修医の声を最大限研修に取り入れたプログラムを心がけ、研修医を「若い労働力」ではなく、研修＝「教育」と捉え、研修医に主体性と医師としての責任感を持たせた研修を実施している。

☆豊富な症例数

指導医・上級医2～4名の1グループに研修医1名を配置したローテートを実施することにより、各科において十分な症例の確保と、指導医による手厚いサポートを実現している。また、福島県東北地方の2次救急指定病院として屈指の救急患者を受け入れ

ており、新生児から高齢者、軽症・交通外傷からCPA等、市中病院でこそ経験可能なCommon diseaseの豊富な症例を2年間通年で経験することで、救急疾患に対する臨床能力とコンサルテーション能力を身に付けることができる。

☆充実した教育行事

研修医の教育行事が盛り沢山で共通教育行事(レジデントカンファレンス、レジデントレクチャー、画像診断カンファレンス、救急症例検討会/ケーススタディ、英文抄読会、院長研修、CPCなど)への参加は各科での研修に優先して実施され、症例の共有とプレゼンテーション能力の向上を図ることができる。

研修スケジュール

・基本プログラム

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急科		麻酔科	整形外科	外科	選外
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科		産婦	精神科	地域	自由選択科						

※総合診療重視プログラムの場合は、小児科、産婦人科、麻酔科、地域医療をそれぞれ2ヶ月間の研修とし、救急科(総合診療)を4ヶ月間研修を行います。また、内科外来(主に初診外来)を週1回通年で研修することとします(午前中のみ)。

研修医の処遇

- 常勤・非常勤の別：常勤
- 研修手当(税込)
 1年次…基本給450,000円/月
 2年次…基本給470,000円/月
 休日手当…有り
 宿日直手当…有り
- 基本的な勤務時間：8：30～17：00(週5.5日、40時間)
- 休暇
 有給休暇…1年次10日、2年次11日
 その他…夏季休暇、年末年始休暇
- 宿日直：1年次4回/月 2年次4回/月
- 社会保険/労働保険
 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険
 労働者災害補償保険法の適用…有り
- 健康診断：2回/年
- 医師賠償責任保険：病院：有り 個人：任意
- 宿舎/住居手当：宿舎：無し、住宅手当…30,000円
- 女性医師支援取組：有り

募集要項

募集定員：基本プログラム(定員6名)

総合診療重視プログラム(定員2名)

- 必要書類：臨床研修申込書(当院規定)、履歴書(当院規定)、成績証明書、卒業(見込み)証明書
- 選考方法：個人面接、その他
- 募集期間：選考試験の1週間前まで(8月中複数回実施)

資料請求先

〒960-8611 福島市大町6番11号
 一般財団法人大原記念財団 大原総合病院 総務課(武田・佐藤・菅野)
TEL：024-526-0300 FAX：024-526-0342
 E-mail：rinken@ohara-hp.or.jp



レジデントレクチャー(1回/週)



救急症例検討会/ケーススタディ(1回/月)



CPC(1回/隔月)



わらじまつり